

ボッシュ ビルトイン食器洗い機 取付設置マニュアル

DWTMI2305



■取付部品 ※一部を除き本体庫内にまとめています

●開口部に取り付け(P.2参照)

ワークトップ保護プレート(金属板)



×1

この部品は本体の上または下にあり

保護プレート用クギ



×8

φ2×20mm

●本体に取り付け(P.2～3参照)

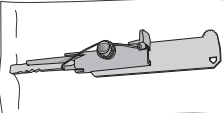
アジャスターソケット



×1

※SPI6ZDS006のみ

チャイルドロック

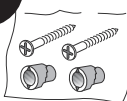


×1

白い袋の中にある

本体固定ネジ+アンカー

60cm



×1

M4×36mm

45cm

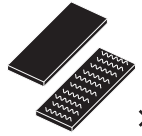


×1

M4×28mm

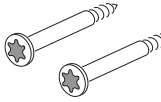
●面材に取り付け(P.4～6参照)

面ファスナー



×2

ドア面材固定用ネジ



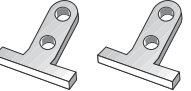
T20 M4×42mm
ドア面材用 ×2
フルドア面材用 ×6

ドアフック用ビス



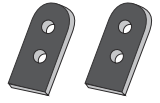
T20 M4×15mm
×4

ドアフック



×2

ドアフック用ゴム



×2

巾木カバーから切り取る

●巾木に取り付け(P.7参照)

巾木カバー(黒いゴムシート)



×1

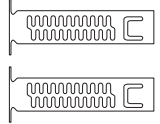
この部品は本体の上にある

巾木取付用ビス



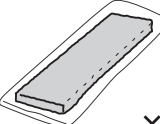
T20 M4×15mm
×2

巾木アジャスター



×2

静音フェルト

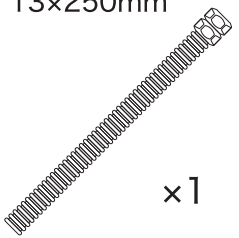


×1

※一部機種のみ

●給排水接続(P.8参照)

フレキパイプ 13×250mm



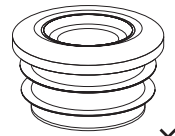
×1

異径ニップル13×20



×1

防臭パッキン



×1

■必要な工具

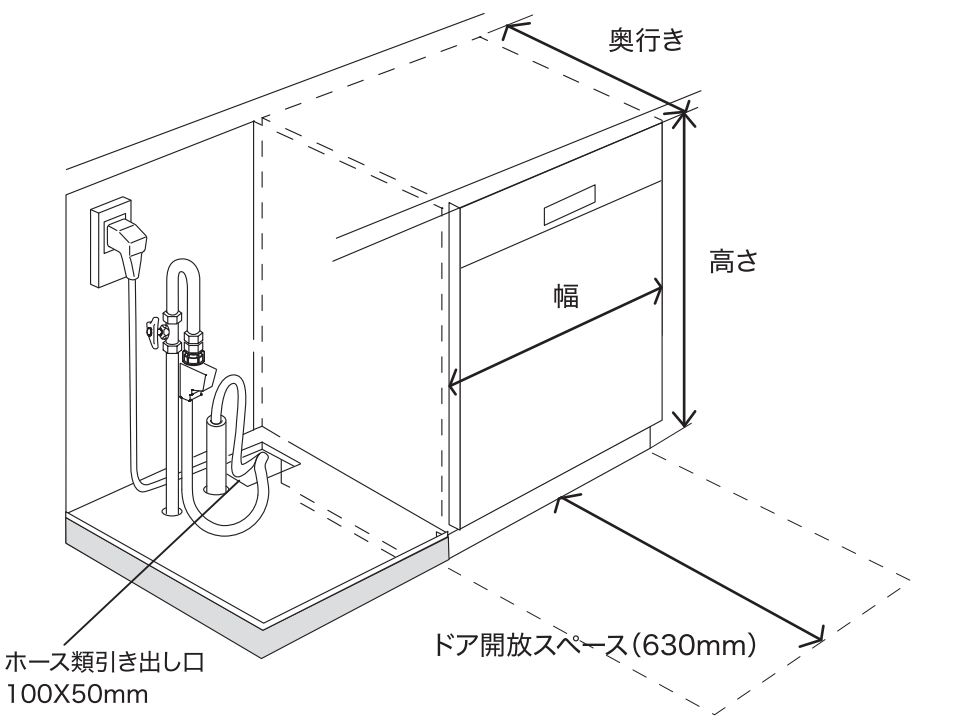
面材、巾木取り付け	トルクスドライバー(T20)、クランプ
本体の固定	プラスドライバー(No.2)
高さ調整	①マイナスドライバー(10mm幅) ソケットドライバー(呼び10) ②スパナ(13-17 厚さ7mm以下)

■離隔距離

消防法告示第一号(対象火気設備及び火気器具等離隔距離に関する基準)に適合しております。
建築物の可燃物等からの距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形 可燃物からの離隔距離(cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	—	0

■開口寸法(設置に必要な空間)



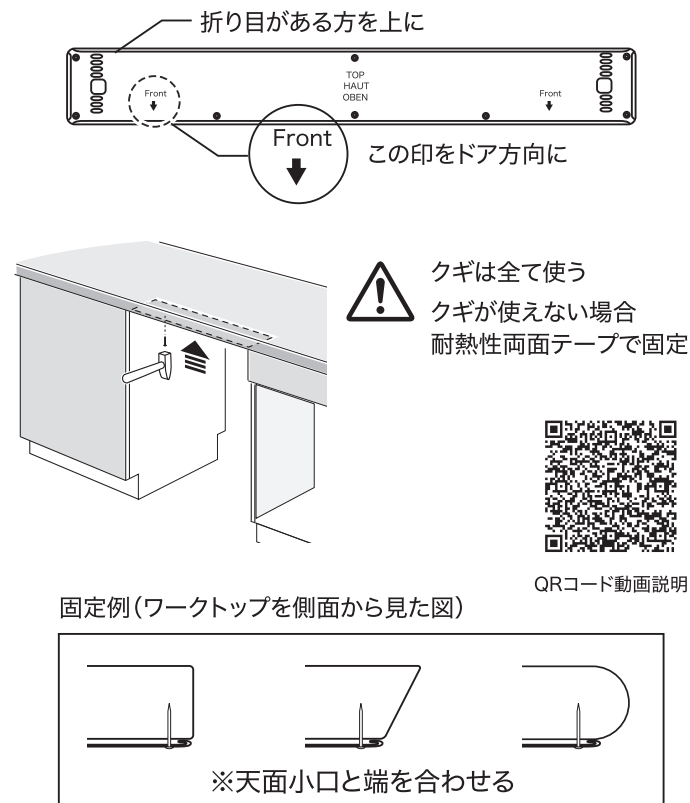
	幅60cmモデル	幅45cmモデル
幅	600mm	450mm
奥行	ドア面材タイプ 573mm以上 フルドア面材タイプ 550mm以上	573mm以上
高さ	815～875mm	815～875mm

■面材規格

	幅	高さ(最大)	厚さ(最大)	面材重さ
幅60cmモデル ドア面材タイプ	594mm	606mm	23mm	2.5～8.5kg
幅60cmモデル フルドア面材タイプ	594mm	720mm	23mm	2.5～8.5kg
幅45cmモデル ドア面材タイプ	444mm	606mm	23mm	2.5～6.5kg

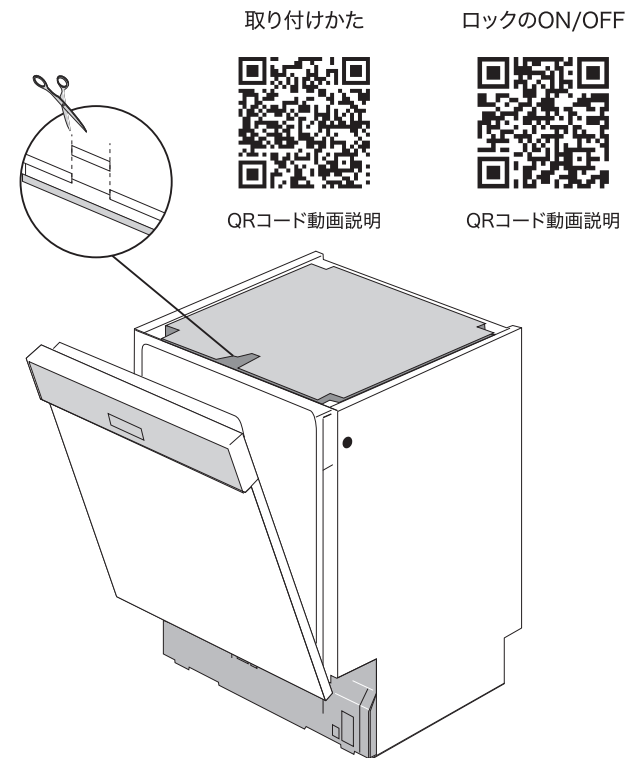
ワークトップ保護プレートの取り付け

天板裏が木質系の場合に湿気対策として必ず取り付ける

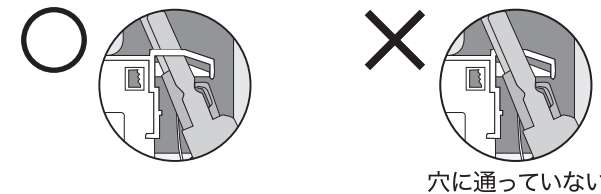


チャイルドロックの取り付け

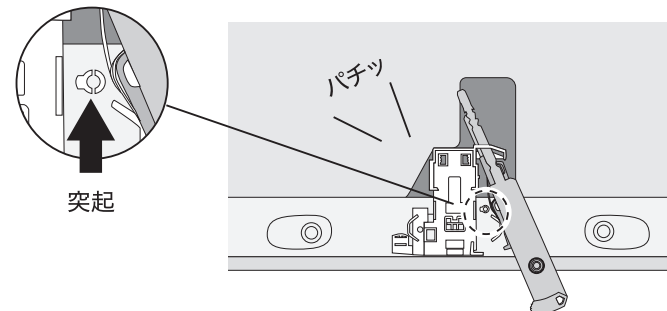
①上部パッキンを点線に沿って切り取る



②突起を下に向け、レバーの先を白い穴に通す

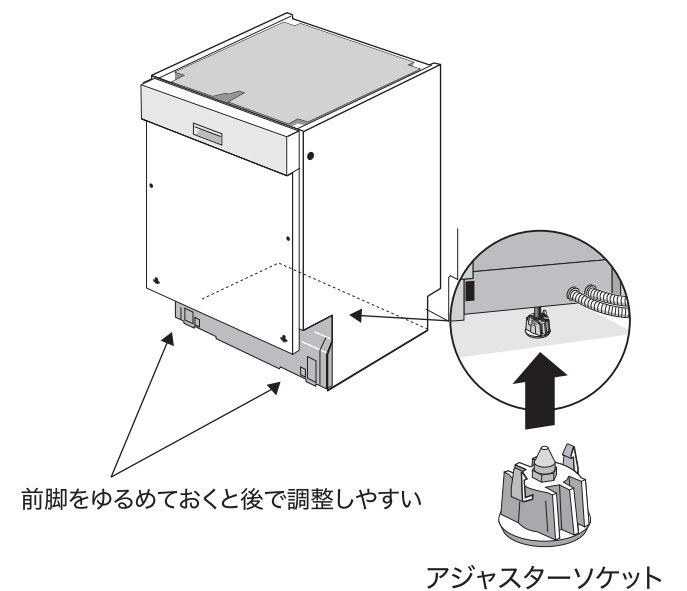


③突起を本体の白い軸にはめ、「パチッ」と音がするまで押す



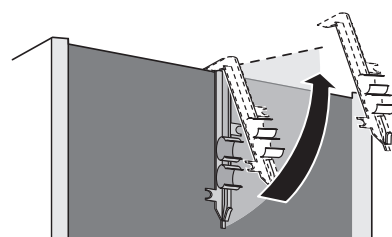
アジャスターソケットの取り付け(一部機種)

アジャスターを30mm以上伸ばすときに後に取り付ける同梱されていない機種は脚をそのまま伸ばすことができる

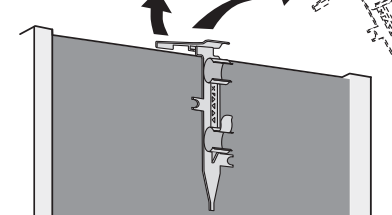


給排水ホースのホルダーの取り外し

60cm 下からめくる



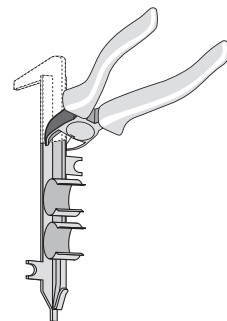
45cm 上からはがす



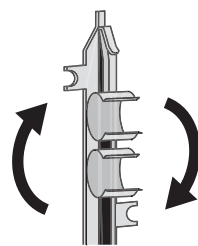
グレーの発泡フォームは外さない

【参考】ホルダーの活用

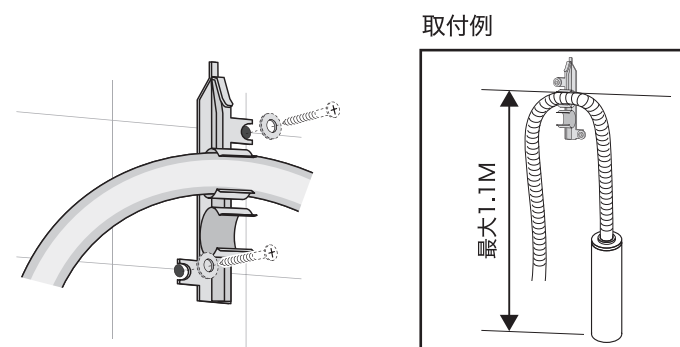
①ホルダーの一部を切り取る



②逆さまにする

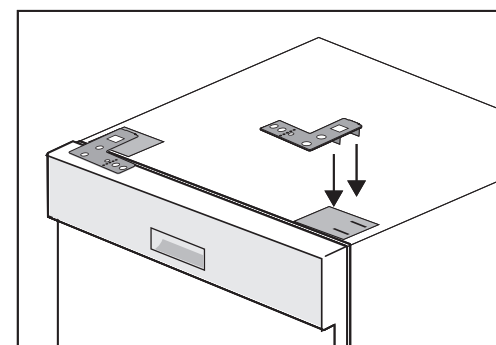
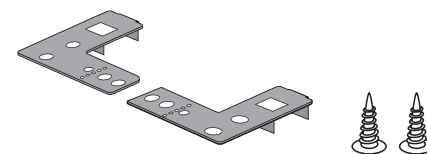


③市販のビスとワッシャーを使って固定する

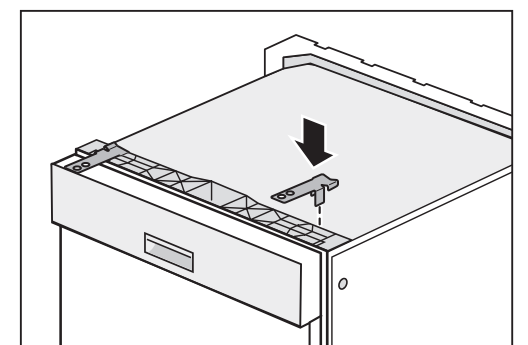
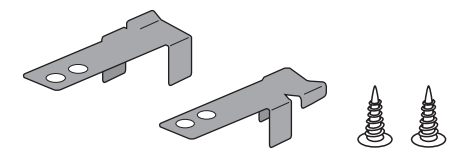


本体固定ビスが使えない場合は、天板取付用固定金具(別売り)を取り付ける

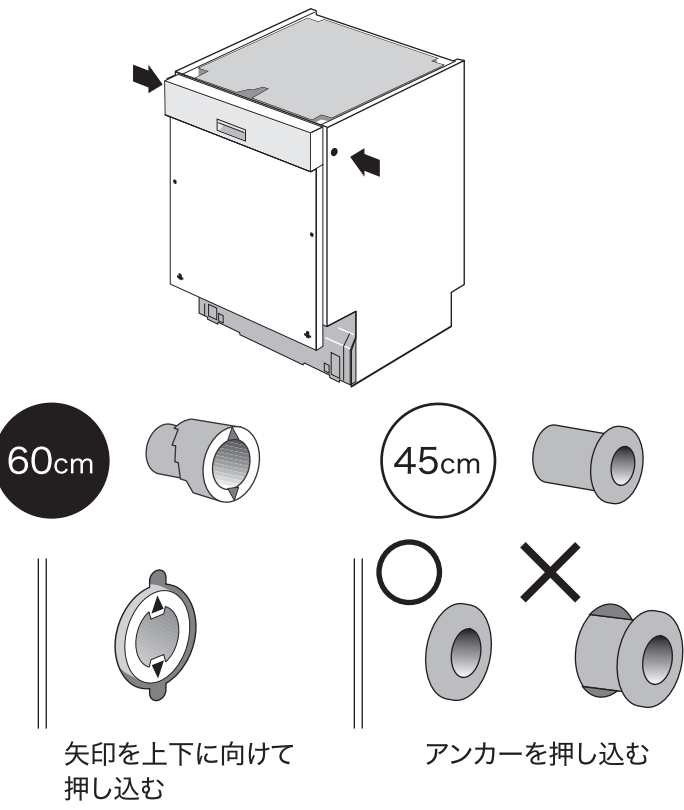
60cm 天板取付用固定金具(別売り)
パーツNo.622456



45cm 天板取付用固定金具(別売り)
パーツNo.10011641

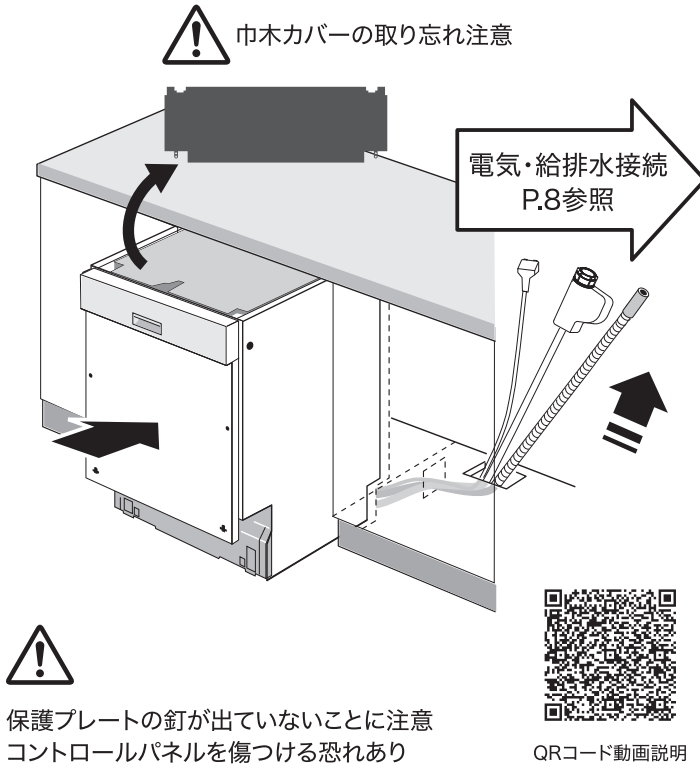


1 固定アンカーの取り付け



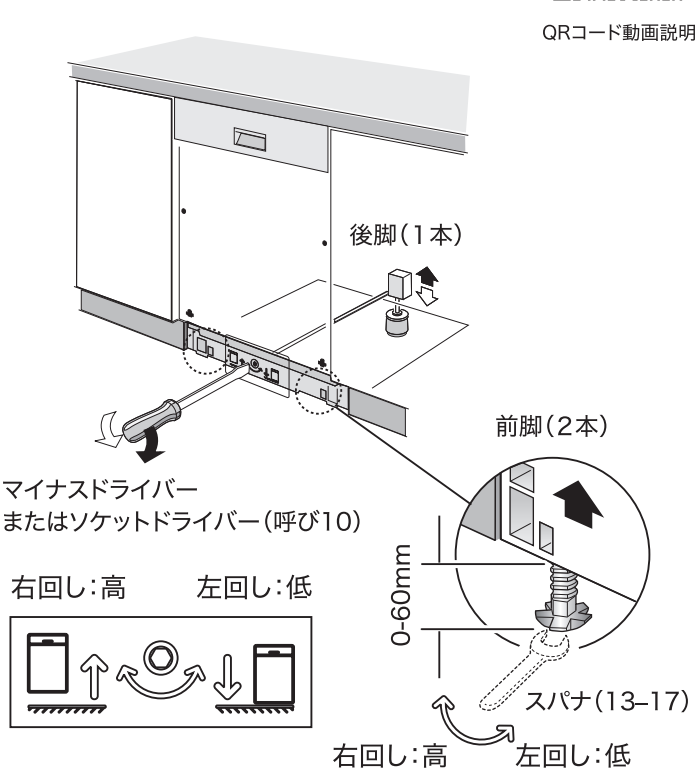
2 本体の設置

コード・ホースを引き出しながら、本体を慎重に押し込む

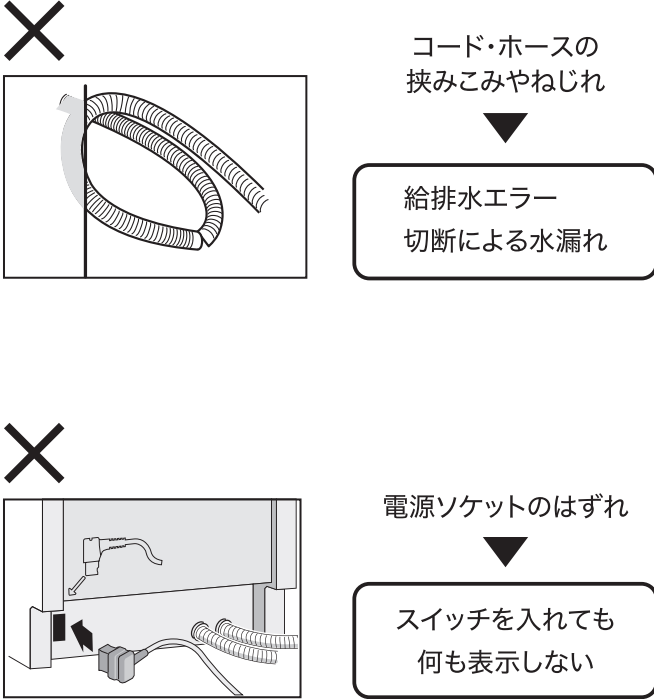


3 高さの調整

前後左右に傾きがないことを確認する



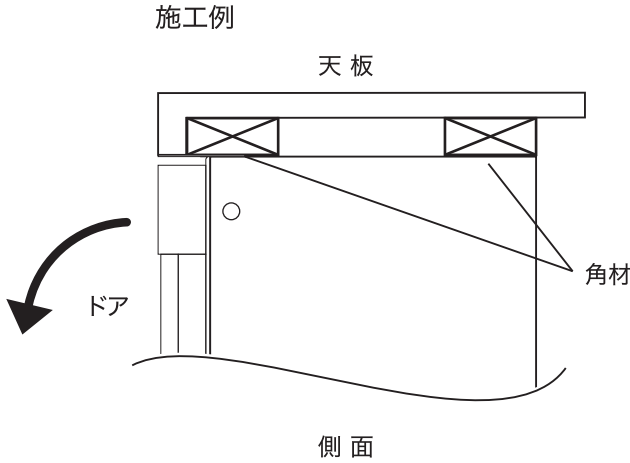
■本体を押し込む際の注意点



 開口内部は、すき間を作らないようにしてください

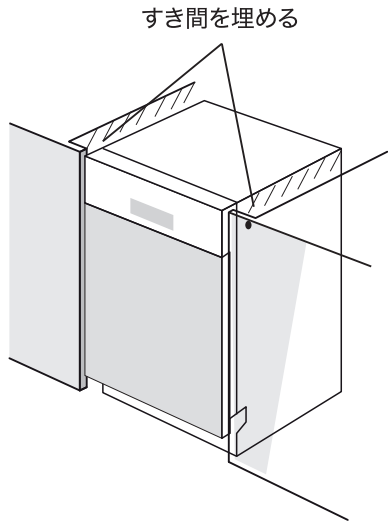
●天板裏とのすき間

角材を調達し天板裏に取り付けてください。
本体が面で支えられより安定します。



●固定ネジと側板のすき間

本体固定ネジが届くように木材で埋めてください



<メンテナンスしやすい設置環境にご協力ください>

●開口サイズを守る

無理に入れると本体を引き出せません

●キッチンから自立している

天板を支えると本体を引き出せません

●本体の目の前に床下収納を作らない

本体を引き出せません

●設置後に床を上げない

本体が閉じ込められ引き出せません

●設置面はタイルなどの凹凸がない

水平に設置できません

●通し巾木をしない

本体を引き出せません

●巾木をコーキングしない

本体を引き出せません

●本体の背面に給排水接続をしない

メンテナンスができません

面材取付(ドア面材タイプ)

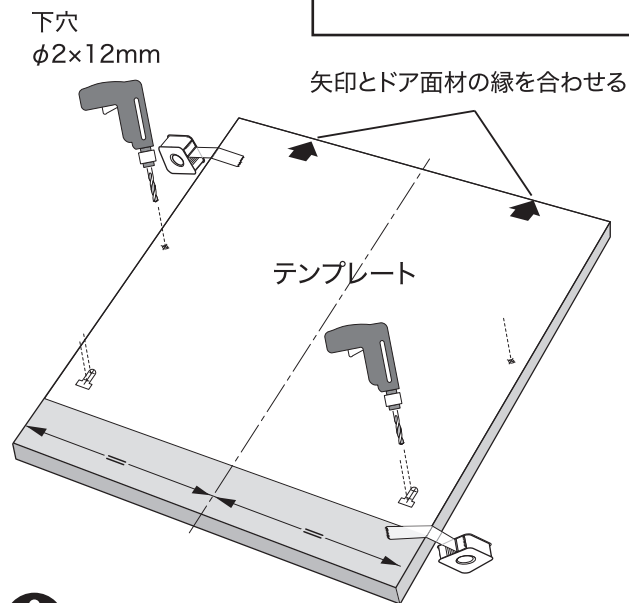
！ 実行しなければならない内容です。

トルクスドライバー-T20
をご用意ください。

BOSCH

1 下穴の加工

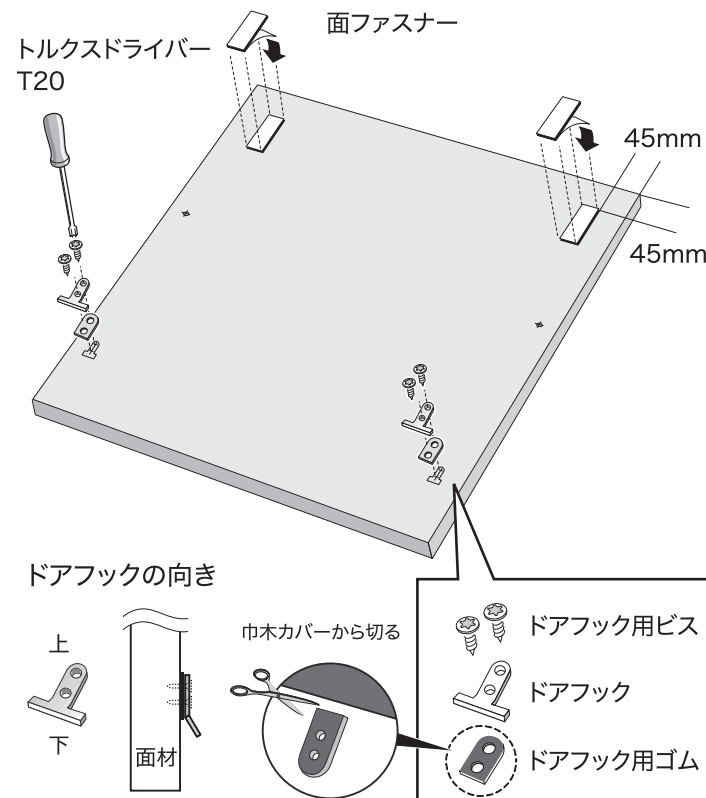
【面材テンプレート使用位置】
幅60cmモデル 青色のワク
幅45cmモデル 赤色のワク



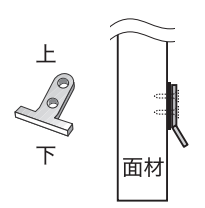
！ 下穴加工φ2mm、深さ12mmを必ず行ってください。

フィラー取付
P.6参照

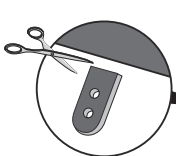
2 金具の取り付け



ドアフックの向き



巾木カバーから切る

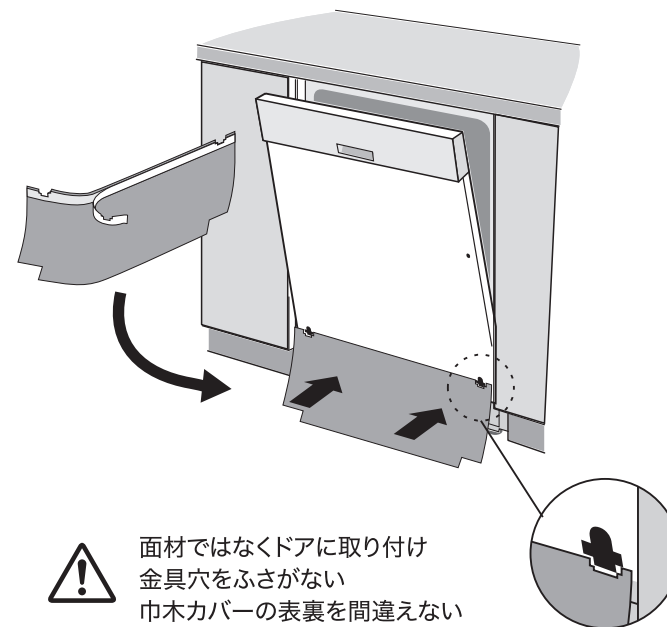


ドアフック用ビス
ドアフック
ドアフック用ゴム

3 巾木カバーの取り付け



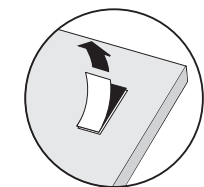
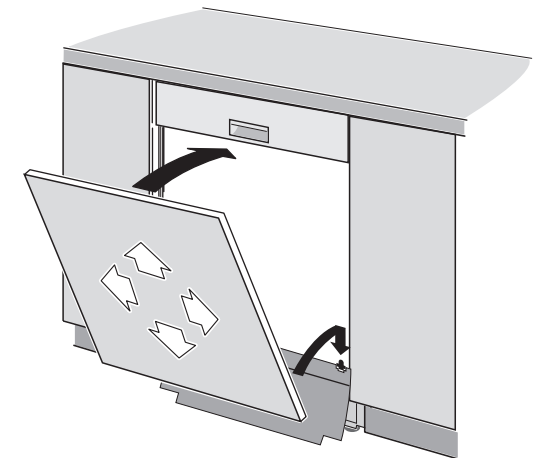
QRコード動画説明



！ 面材ではなくドアに取り付け
金具穴をふさがない
巾木カバーの表裏を間違えない

4 ドア面材の取り付け

ドアフックを穴に掛け、仮固定する



面ファスナーのもう一方の
はくり紙をはがしておく

5 ドア面材の固定

- ①ドアを開き、クランプでドア面材を固定する
- ②本体ドアのビスを外し、ドア面材固定用ネジを使う
(外したビスは廃棄)

ドア面材固定用ネジ(2本)



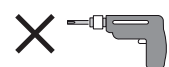
T20 M4x42mm

！ 固定ネジの取り付け位置を間違えないこと

！ 固定ネジの締めすぎに注意。ドア面材を突き抜ける恐れあり

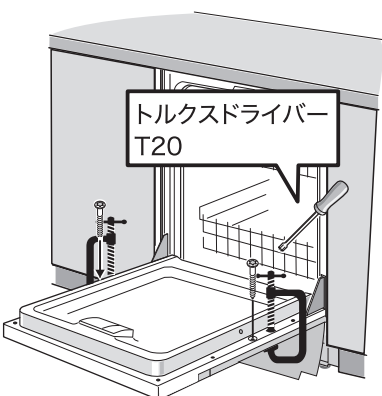
！

インパクトや電動ドライバーは
使用しないでください



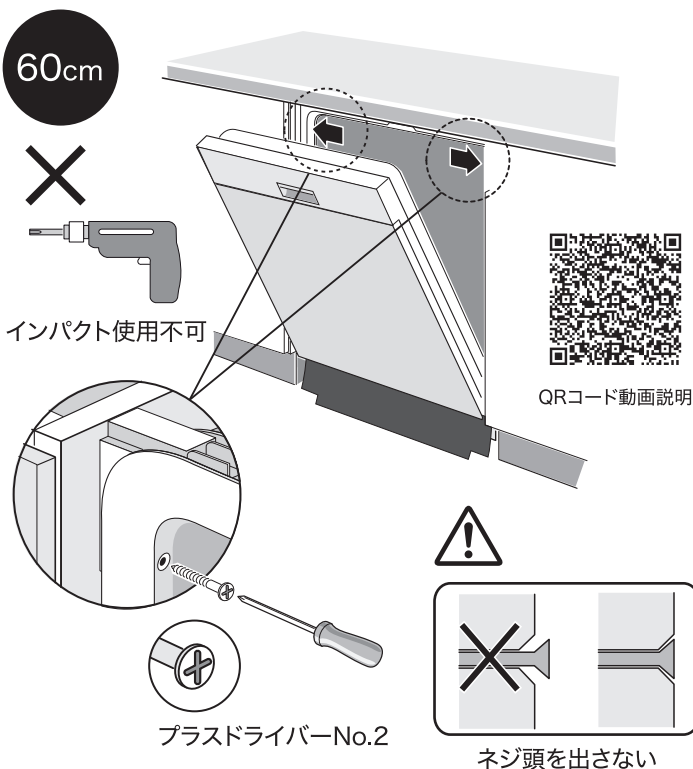
！

クランプや固定ビスを締める
際は本体を歪ませるほど締め
ないこと



6 本体の固定

本体ドアを開き、一番上のラックを外してから左右2カ所に本体固定ネジで固定する



60cm

！

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

45cm

！

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

インパクト使用不可

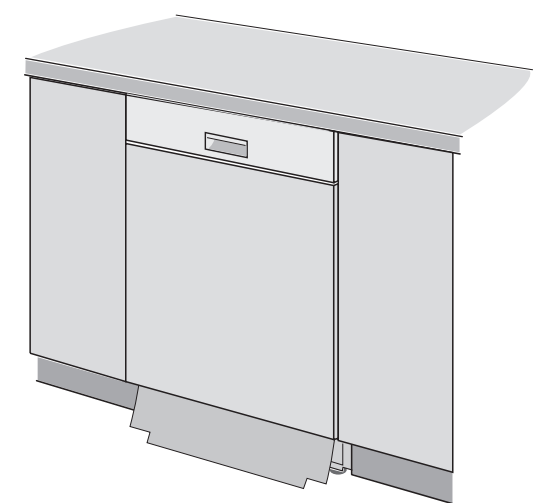
インパクト使用不可

インパクト使用不可

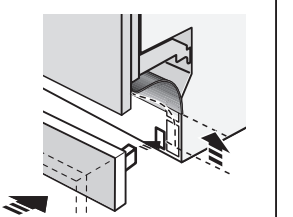
インパクト使用不可

インパクト使用不可

7 完成



巾木取付
P.7参照



面材取付(フルドア面材タイプ) ※P.6も参照すること

❗ 実行しなければならない内容です。



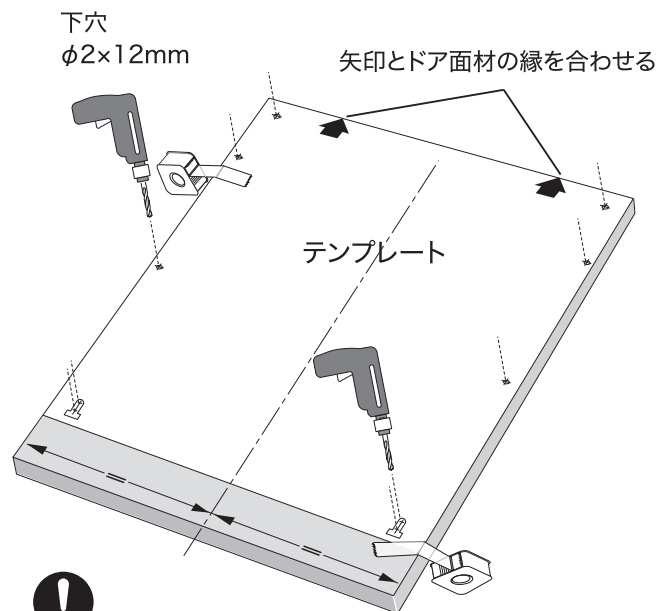
トルクスドライバーT20
をご用意ください。



BOSCH

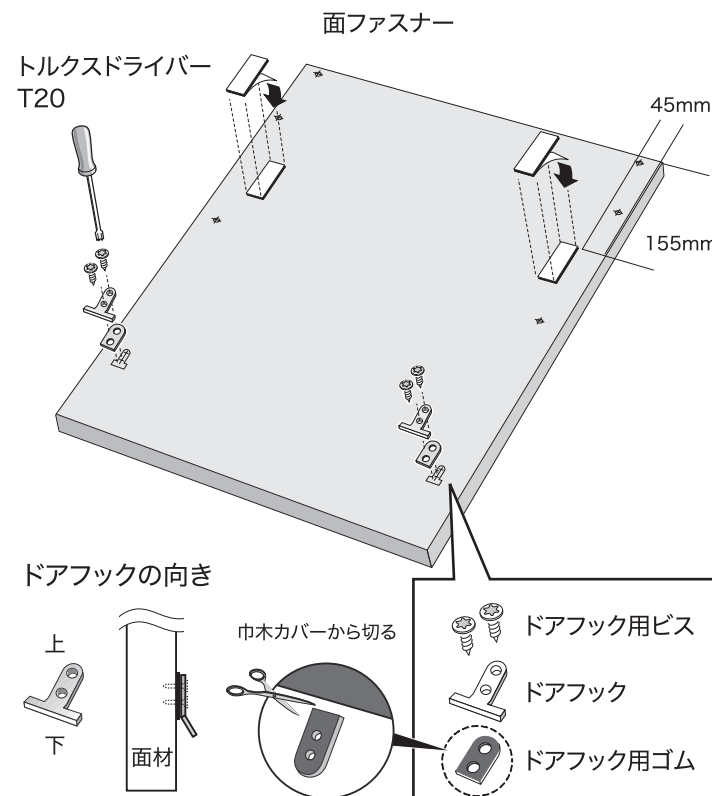
1 下穴の加工

【面材テンプレート使用位置】
幅60cmモデル 緑色のワク



❗ 下穴加工φ2mm、深さ12mmを
必ず行ってください。

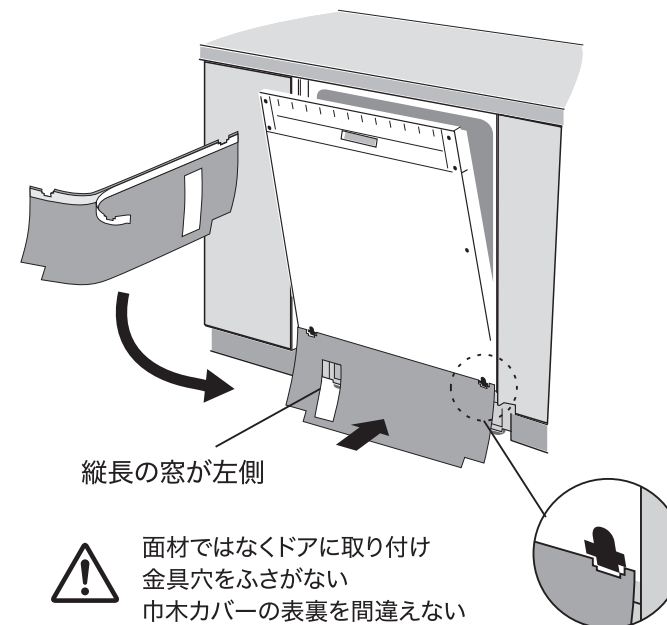
2 金具の取り付け



3 巾木カバーの取り付け



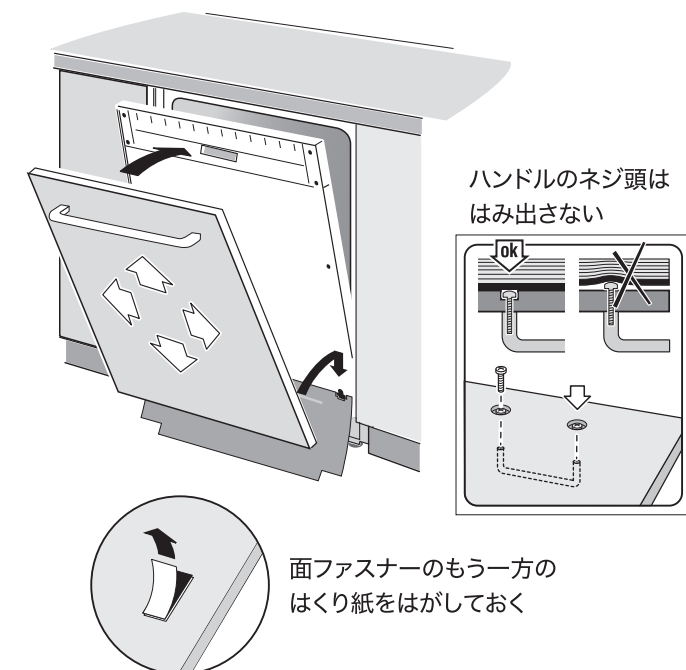
QRコード動画説明



❗ 面材ではなくドアに取り付け
金具穴をふさがない
巾木カバーの表裏を間違えない

4 ドア面材の取り付け

ドアフックを穴に掛け、仮固定する

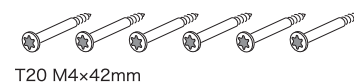


面ファスナーのもう一方の
はくり紙をはがしておく

5 ドア面材の固定

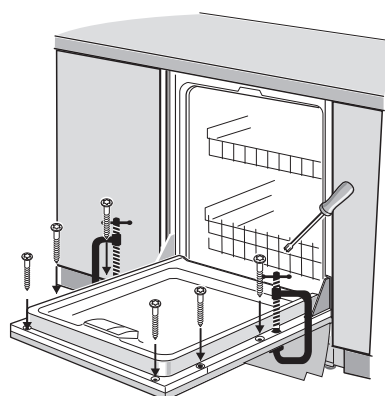
- ①ドアを開き、クランプでドア面材を固定する
- ②本体ドアのビスを外し、ドア面材固定用ネジを使う
(外したビスは廃棄)

ドア面材固定用ネジ(6本)



❗ 固定ネジの取り付け位置を間違えないこと

❗ 固定ネジの締めすぎに注意。ドア面材を突き抜ける恐れあり

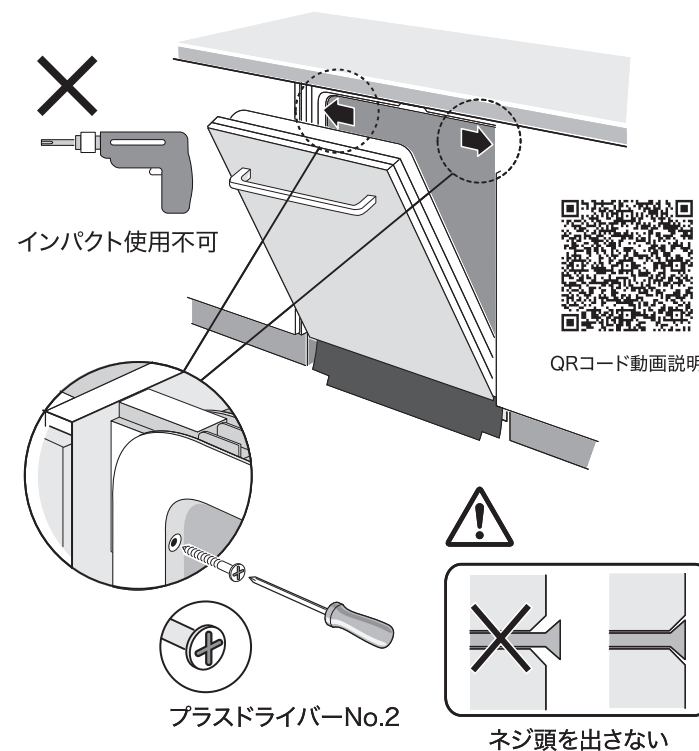


❗ インパクトや電動ドライバーは
使用しないでください

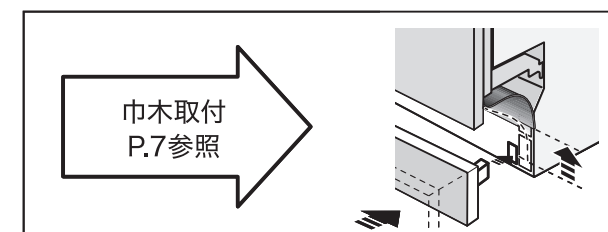
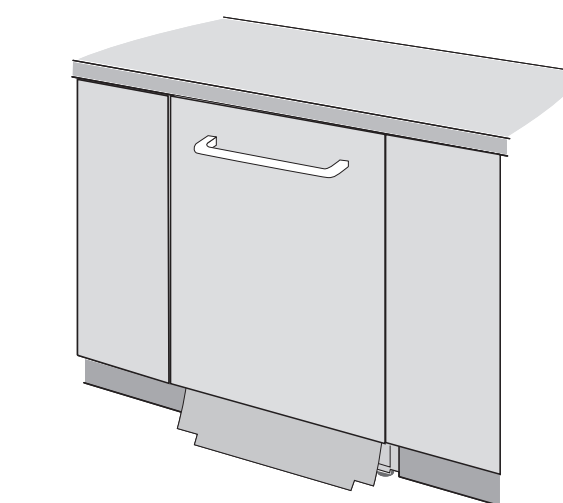
❗ クランプや固定ビスを締める
際は本体を歪ませるほど締め
ないこと

6 本体の固定

本体ドアを開き、一番上のラックを外してから
左右2カ所に本体固定ネジで固定する



7 完成



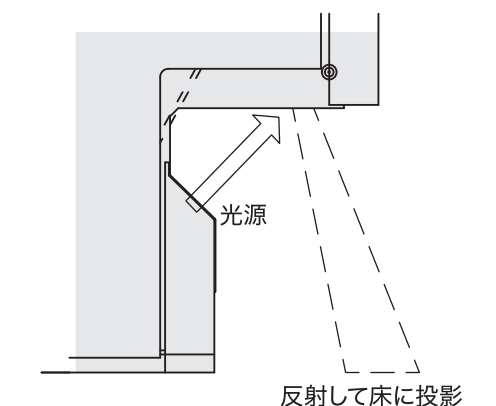
■巾木カバー取り付けの注意点

タイムライト



巾木カバーを裏表間違える

タイムライトが
隠れて表示しない

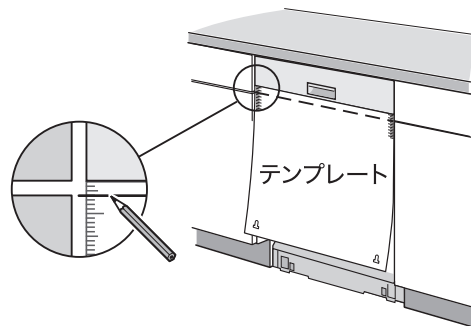


❗ 巾木の高さや位置も表示を遮る原因

フィラー取付(ドア面材タイプ)

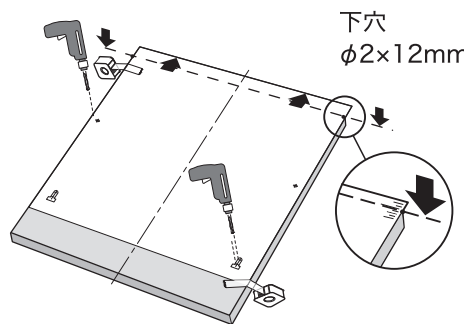
1 フィラー高さを決める

テンプレートの矢印をコントロールパネル下にあて、左右のドア縁に沿って目盛り印をつける



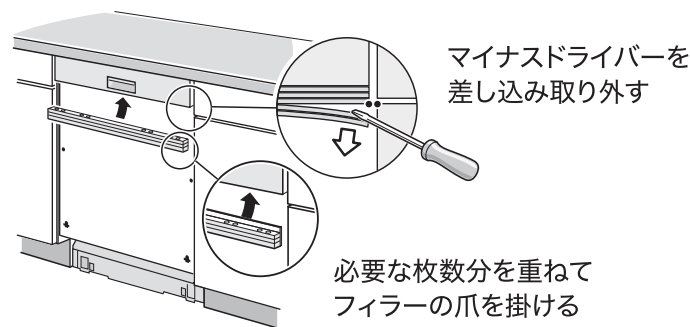
2 下穴の加工

左右の印を線で結び、その線をドア面材の縁にあて、下穴を開ける



⚠ フィラー+面材高さ合計606mm以下

3 フィラーの取り付け

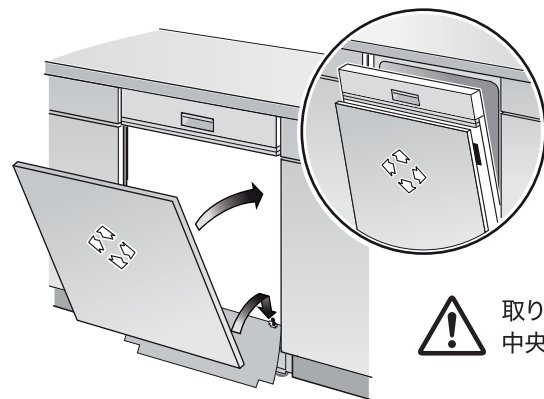


■フィラー調節範囲

フィラーの数	フィラー高さ
1枚	6mm
2枚	12~14mm
3枚	18~22mm
4枚	24~30mm

4 ドア面材の取り付け

ドアフックを穴に掛け、仮固定する



⚠ 取り付け難いときはフィラーを両端と中央をしっかり縮めてスペースを作る

面材取付
P.4参照

フルドア面材設計の注意点

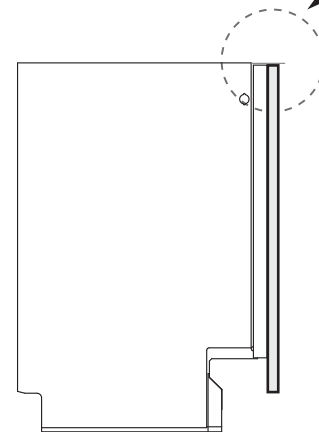


ドアハンドルを兼ねて面材を上伸ばす場合は次の点にご注意ください。

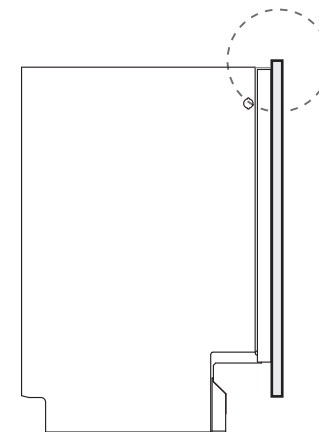
1.チャイルドロックを取り付けることができません



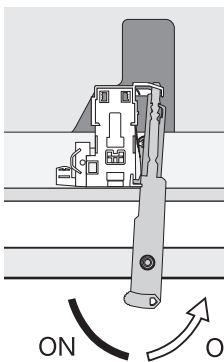
面材のドアが同じ高さ
→チャイルドロックが使えます



面材がドアよりも上
→チャイルドロックが使えません



チャイルドロック

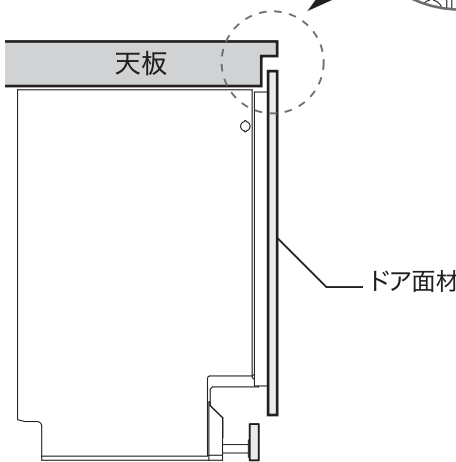


2.設置位置のズレ→ドアの半開きによる漏水・ドア開閉不具合の原因になります

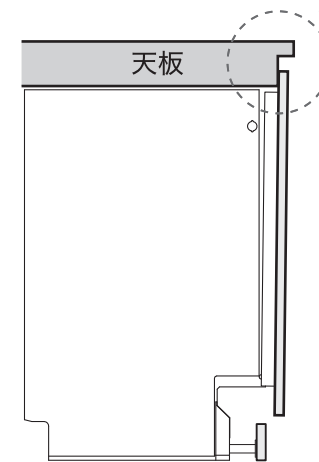
ドアが本体パッキンと密着しなくなり水漏れを生じます。
ドアが閉まる音、ドア面材が天板と接していないか充分に確認してください。



天板と面材が触れていない

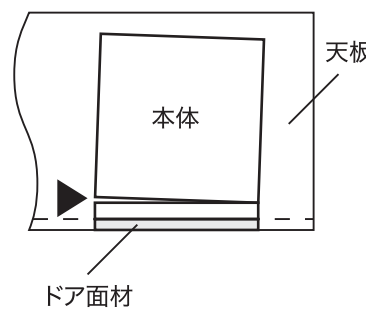


天板と面材が触れている



例) 本体左側を押し込みすぎ
→ドア面材の左側が天板に当たる
→本体とドアにすき間が生じる
→運転中に水漏れ(▶の箇所)

【天板から見下ろした様子】

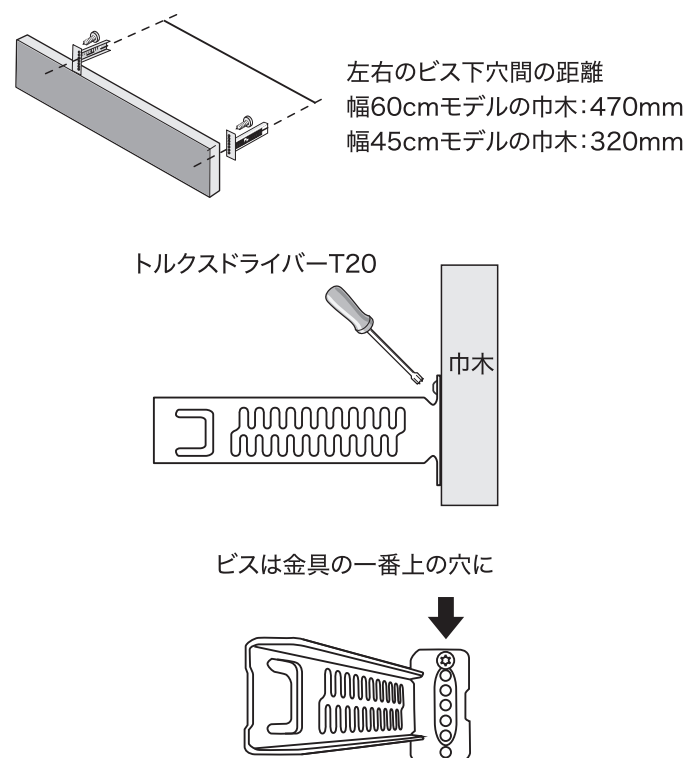


巾木取付

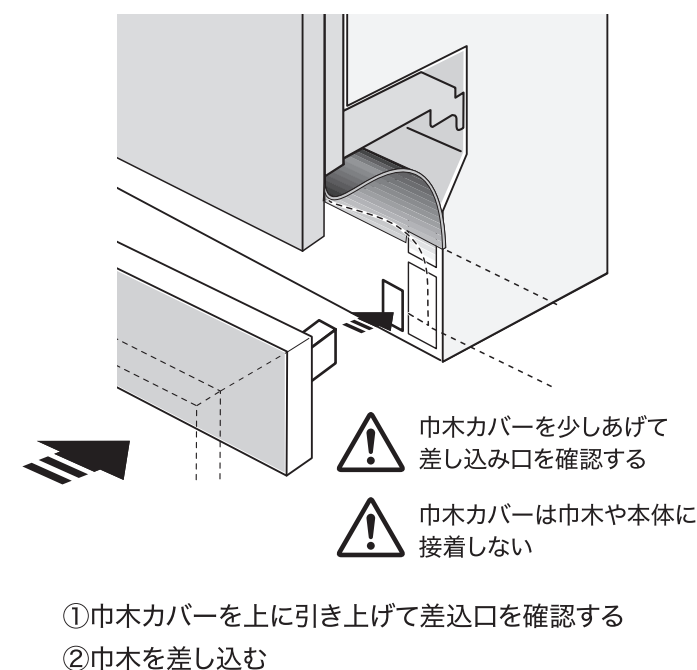
トルクスドライバーT20
をご用意ください。



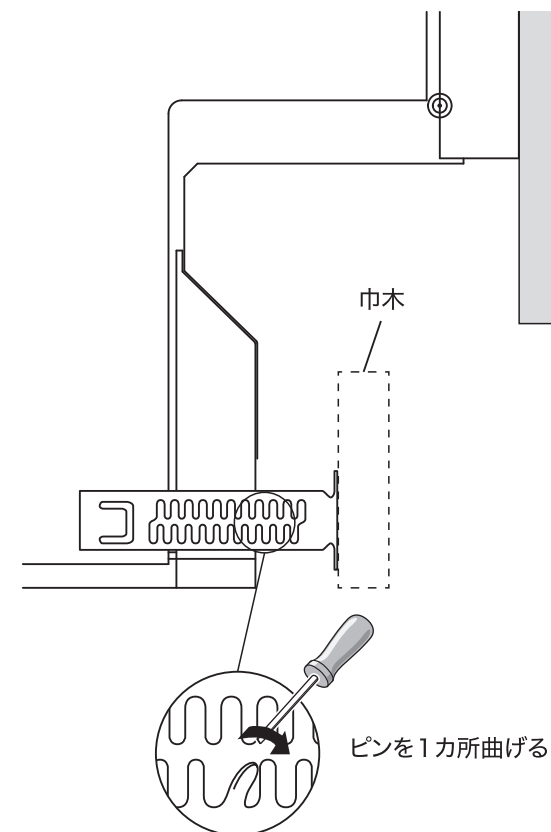
1 巾木アジャスターの取り付け



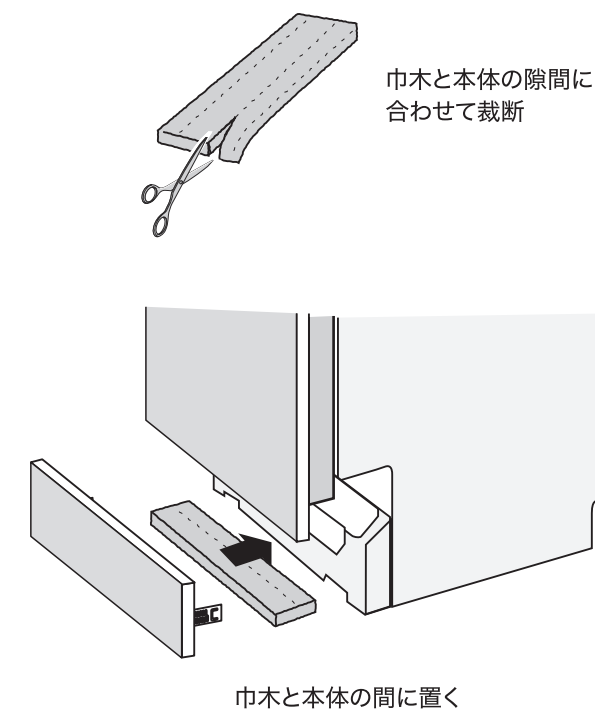
2 本体への取り付け



3 巾木の固定

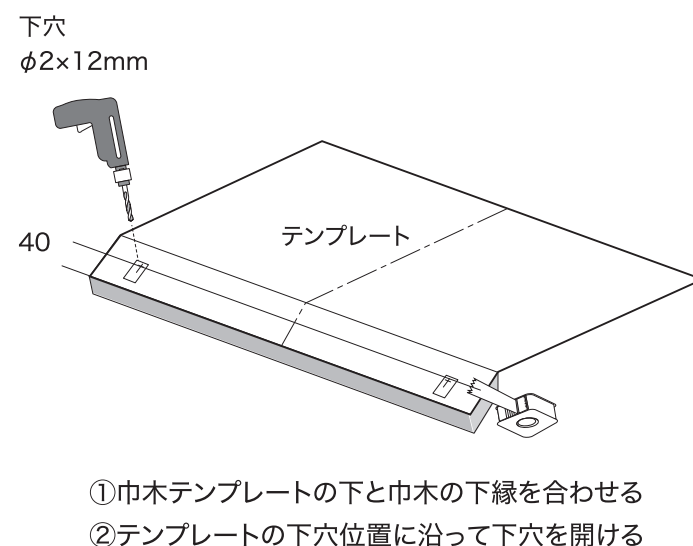
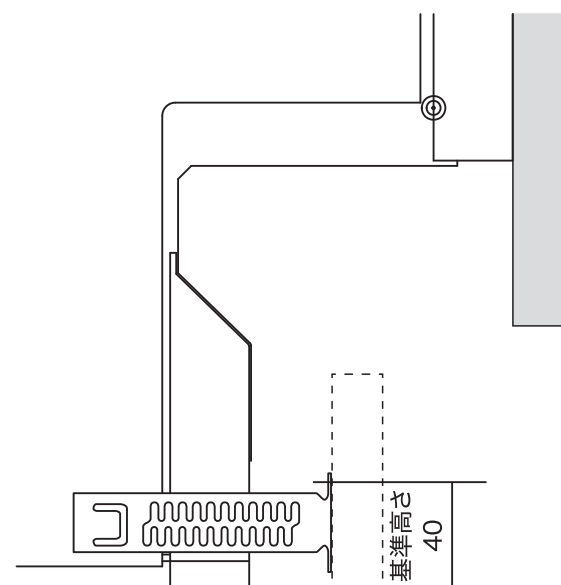


静音フェルトの取り付け(フルドア面材タイプのみ)

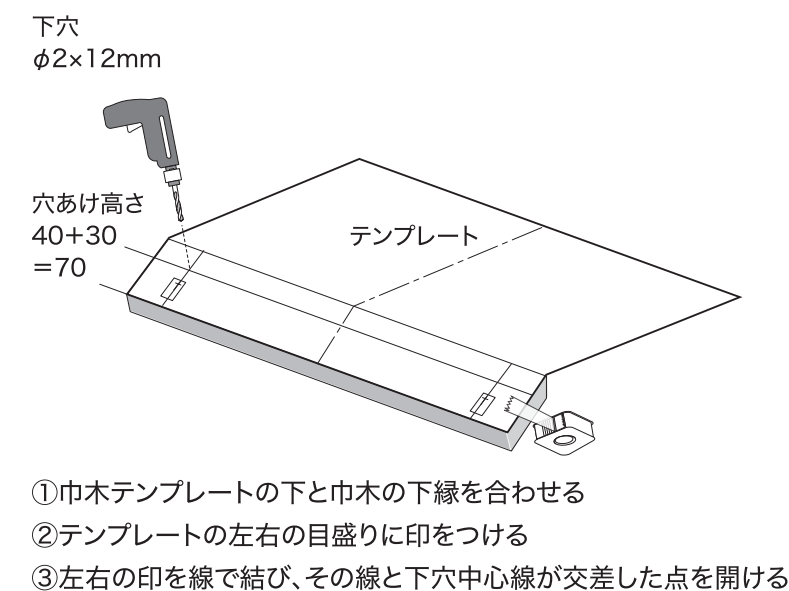
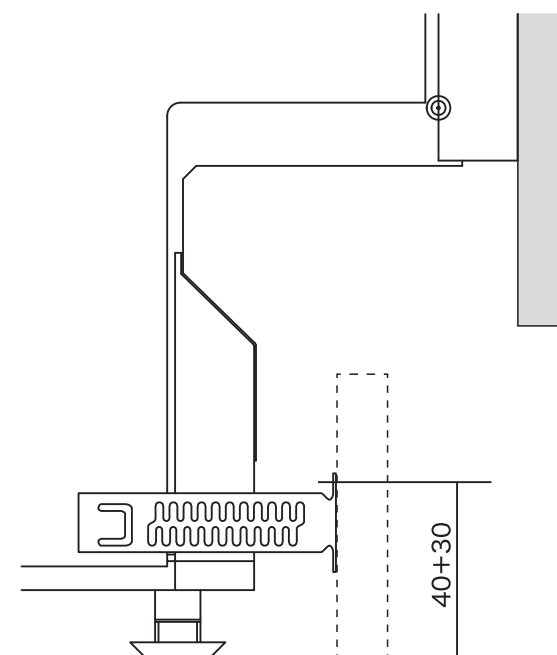


■巾木テンプレートの使いかた

例① 高さ調整をしない場合(脚を伸ばさない)



例② 脚を30mm伸ばす場合



電気接続(本体の左右で接続。背面は不可)

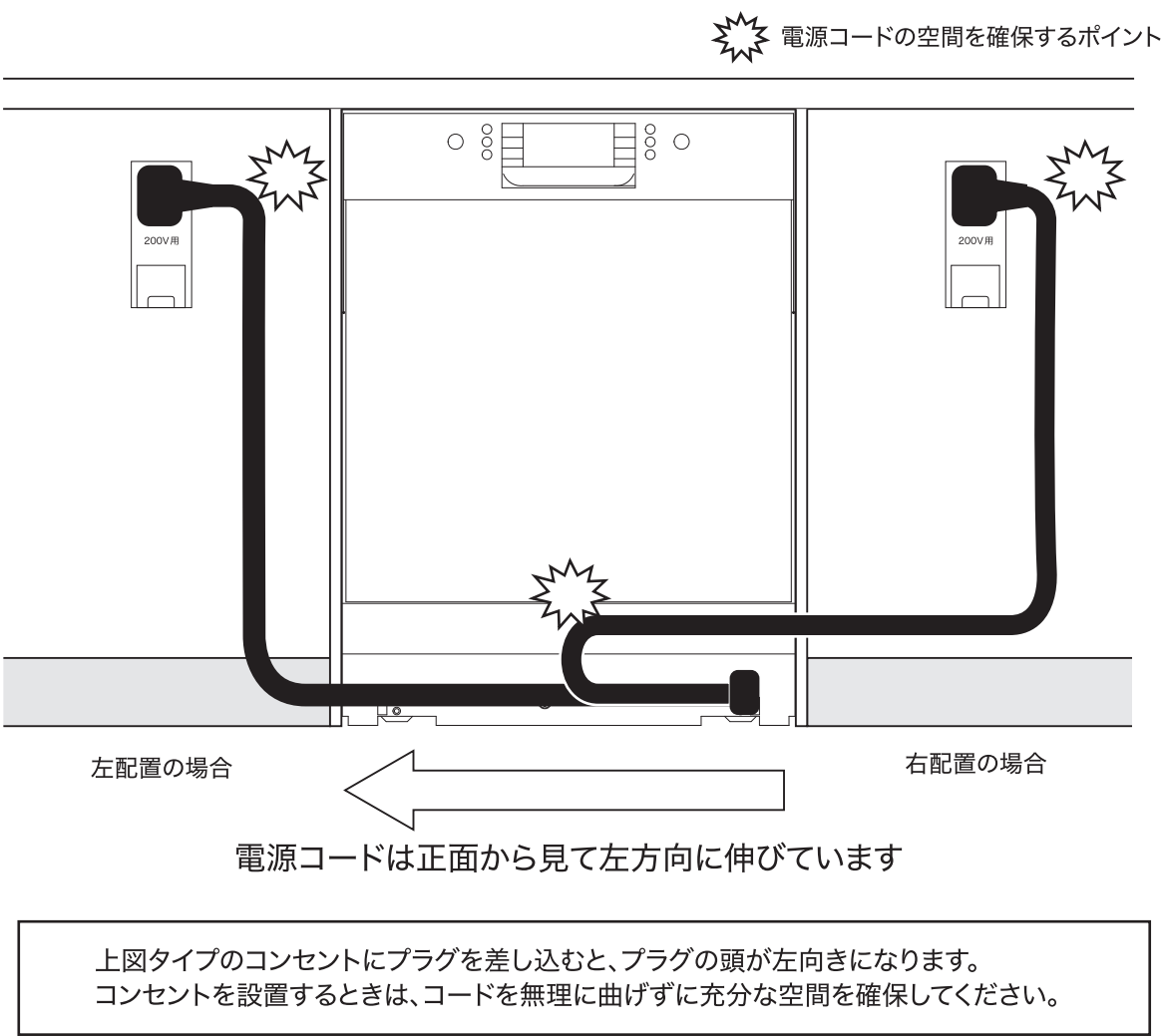
❗ 実行しなければならない内容です。

- 電気配線工事およびアース工事は、電気工事士の有資格者が、電気設備の技術基準に準じて行う
- アースが設置されていない時は電気工事士によるD種設置工事を行う
- コンセント裏が露出したままにせず、必ずキャビネットに組み込む
- 電源プラグは手が届く位置に取り付ける
- 電気プラグの周辺にホコリがたまらないように周囲に空間を設ける

使用電源 ブレーカー付き単相200V・15A専用回路(アース付)
コンセント 露出型 パナソニック WKS294
埋込型 パナソニック WTF19324WK

漏電しゃ断器の設置について
万一の漏電事故時の安全のため、漏電しゃ断器の設置が必要です。
*主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。
推奨品
パナソニック 住宅分電盤用小型漏電ブレーカーBJS203
定格電流20A・感度電流30mA(AC100-200V両用)

■コンセントの位置と電源コードの関係(正面図)



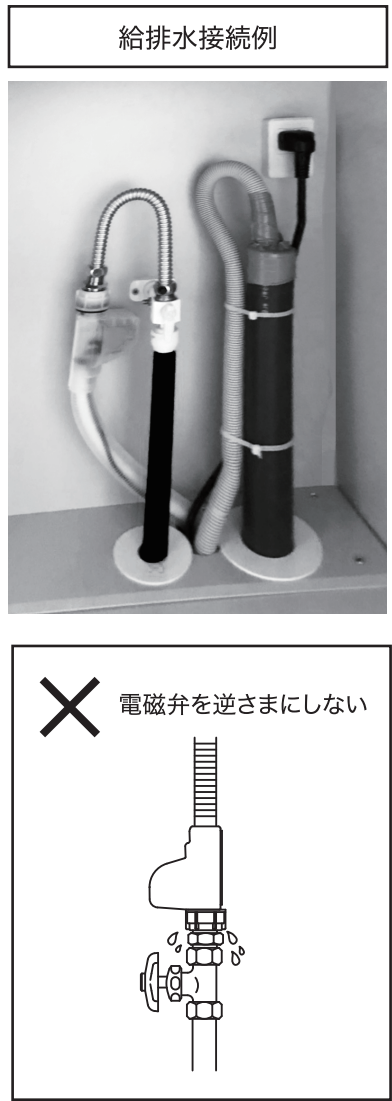
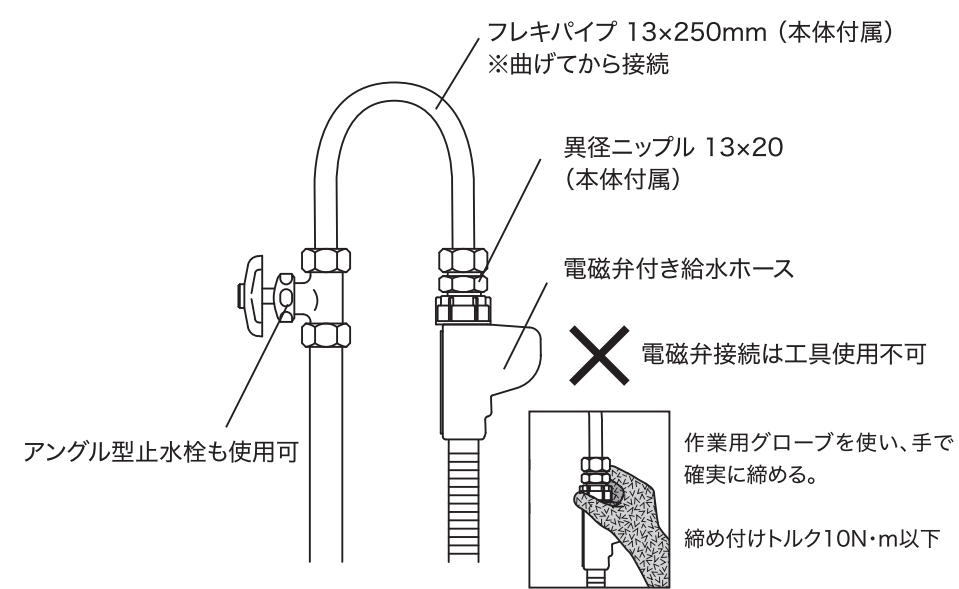
給排水接続(本体の左右で接続。背面は不可) ㊤ BOSCH

❗ 実行しなければならない内容です。

- 給水管の汚れ落としとエア抜きのため、本体を接続する前に必ず通水を行う
- 給排水接続は本体の左または右で行う
- 止水栓は手が届く位置に取り付ける
- 電磁弁付き給水ホースは上向きに手締めで接続する
- 通常は給水接続を行う

作動水圧 0.05MPa~1MPa(0.5~10kg/cm²)
給水止水栓立ち上げ 400mm程度
排水方式 強制排水方式
排水管立ち上げ 200mm以上(塩化ビニル管 呼び40 HT推奨)
電磁弁口径 呼び20

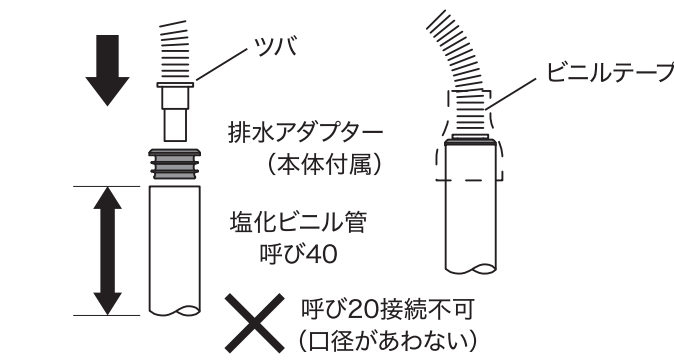
■給水接続例



■排水接続例

A. 縦接続

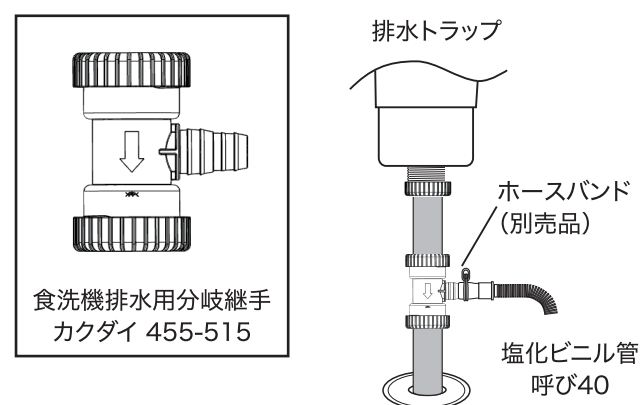
- ①専用排水管を立ち上げる
- ②排水ホースのツバが当たるまで上から差し込む
- ②ビニルテープで覆う



❗ ビニル管はFLから200mm以上
管が短い・排水ホースの差し込み過ぎは排水エラーの原因

B. 横接続

下掲の分岐継手(別売品)を使う



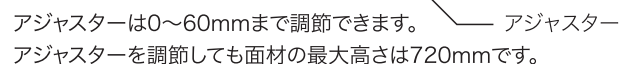
DWFDR2006



MAX以上に伸ばすとドアが開ききりません。



図面データ



ドアを開けたとき

ドアヒンジ
回転の中心

本体に当たります

右のQRコードにある測定ツールを使いサイズを検討してください。



面材と巾木設計のための測定ツール

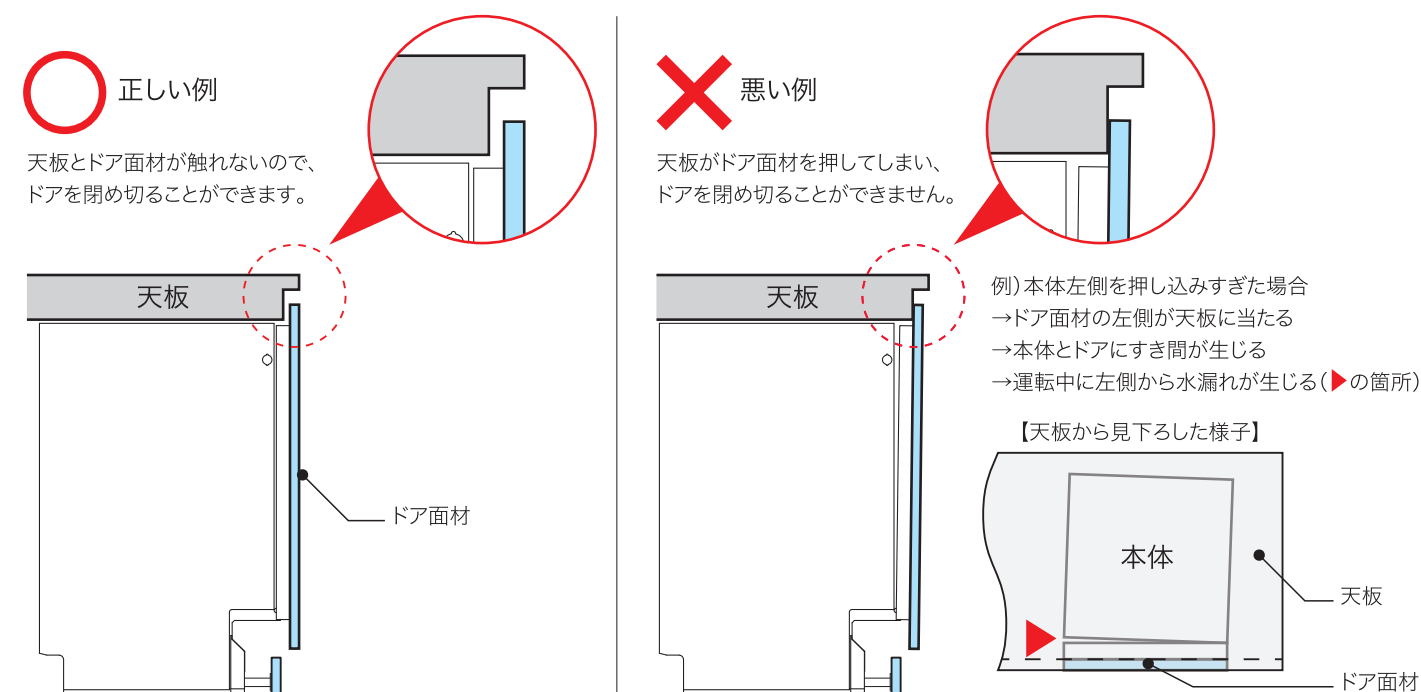
ドアハンドルを兼ねて面材を上にはばす場合は次の点にご注意ください。

チャイルドロックは本体設置の際に付けるオプションパーツです。(取り付け方法は「取り付け設置マニュアル補足資料1」参照)



本体を計画よりも奥に設置したために、ドアが閉め切らない場合があります。数ミリの誤差でも、ドアが本体と密着しなくなるため水漏れが生じる原因となります。

ドアが閉まる音やドア面材が天板と接していないか十分に確認して設置してください。



ドアが「ボタン」と確実に閉まる音がしない場合は、本体固定ビスを外して製品を手前に引き出し再度設置状況をご確認ください。

ボッシュ ビルトイン食器洗い機 設置後のチェックリスト

設置者は必ず次の項目を確認し、チェックボックスに印をつけてください。
全てにチェックがつけば設置確認の終了となります。製品所有者または使用者様にお渡しください。

設置日	年 月 日	製品モデル	☐ W450 ☐ W600
設置ご担当者名		FD	
販売会社名			

付属品の確認 庫内から取り出し、全てを確認した後、テスト運転にお進みください。

アクセサリ	●ベイクングトレイスプレーヘッド 1個 ●ボトルホルダー 1個 ●小物用クリップ 3個 ●カトラリーバスケット 1個	洗 剤	●食器洗い機専用洗剤 1袋 ●リンス剤 1本	チェック ☐
-------	---	-----	---------------------------	----------------------------------

※余熱乾燥方式の製品には上記のアクセサリは付属しておりません。

テスト運転

項 目	確認事項	チェック
電 気	●電源プラグが本体およびコンセントにしっかりと差し込まれている。 ●200Vがコンセントまで引き込まれているかテスターで確認する。 ⚠ ・電源が入るが運転が始まらない場合は、低電圧(100V)が原因です。 ・電源が入らない場合は右ページ3.をご参考ください。	☐ ☐
運 転	・本体内部のバスケットは取り外さずに運転を行ってください。 ・フィルターが正しく固定されていることを確認してください。 【手順】 1.メインスイッチを入れる。(機種によりディスプレイが一定時間点灯してから時間表示) 2.洗浄コースを「エコ50℃」に設定する。 3.スタートボタンを押す。 4.15分程度様子を見る。 ※洗浄開始までは数分かかります。 ボタンの位置がわからないとき お客様用重要封筒に同封しております 「使い方ガイド」をご参照ください。	☐ ☐ ☐
排 水	【手順】 1.メインスイッチまたはスタートボタンを4秒間押す。 (リセットボタン位置は機種により異なります) 2.ディスプレイの運転時間が「0:01」と表示→約1分後に「0:00」にかわり、運転終了 (機種によりディスプレイが一定時間点灯してから時間表示) 【確認項目】 ●排水ホースと排水管の間から水漏れや臭い漏れが無いことを確認する。 ●運転時間が「0:00」と表示された後、ドアを開けて排水されていることを確認する。 ●ドアを閉め、メインスイッチを切り運転を終了する。	☐ ☐ ☐

テスト運転終了後は庫内が濡れたままですので、引き渡しまで日数がある場合は庫内を拭きとってください。

DWTMT2206



設置業者様へ：設置後の再点検のお願い

設置確認が不十分なために生じた事例をご紹介します。
これらの対応につきましては設置業者または設置を依頼した事業者様が行なってください。

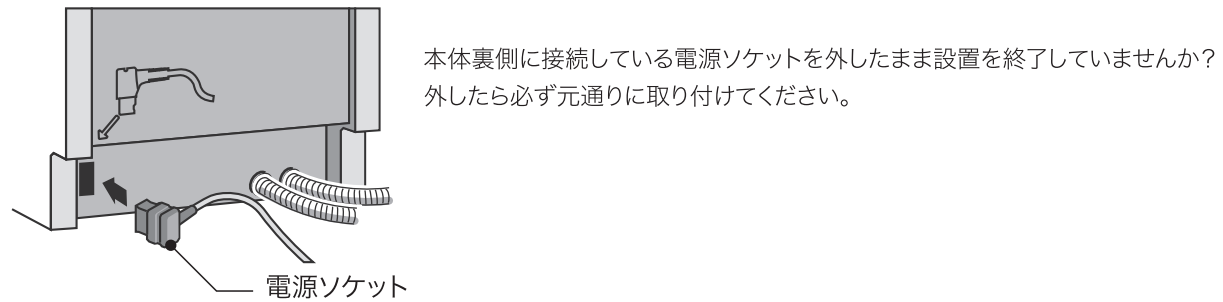
1.給水接続金具の間違い→漏水が発生します

ネジ山が異なる金具を取り付けていませんか？
電磁弁口径は3/4G(呼び20)です。製品に同梱している異径ニップルまたは呼び20の管用平行ネジをご使用ください。

2.温水接続をしたのに本体を温水設定にしていない→余分な電気代がかかります。

温水接続は不要です。国産食洗機の入替えなどで温水接続を行なった場合は、本体を温水対応に設定してください。
設定方法は取扱説明書に記載しております。「機器の設定」または「設定を変更する」の項目ををご参照ください。

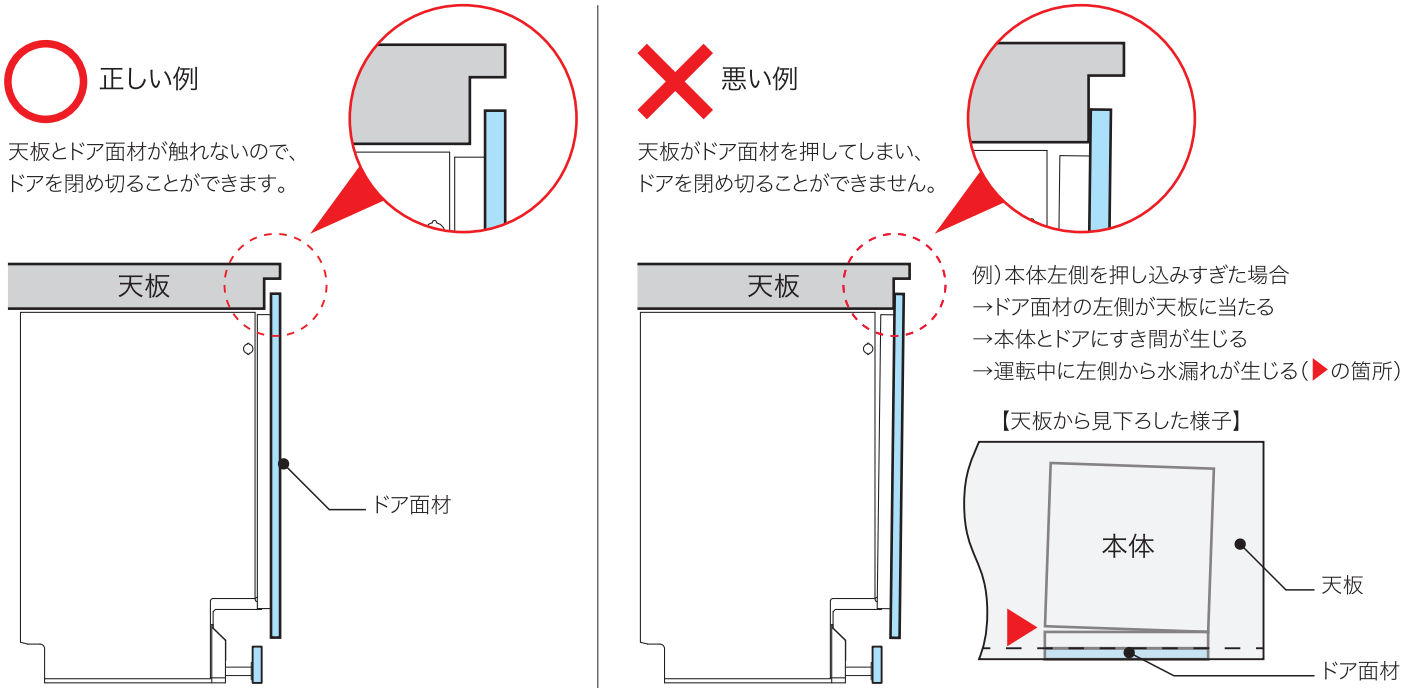
3.本体への電源ソケットのつけ忘れ→運転テストができず、製品故障と誤解されます。



本体裏側に接続している電源ソケットを外したまま設置を終了していませんか？
外したら必ず元通りに取り付けてください。

4.現場の設置位置のズレ→ドアの半開きによる漏水やドア開閉ができない
フルドアタイプでドア面材を上伸ばしたデザインは特にご注意ください。

本体を計画よりも奥に設置したために、ドアが閉め切らない場合があります。数ミリの誤差でも、ドアが本体と密着しなくなるため水漏れが生じる原因となります。
ドアが閉まる音やドア面材が天板と接していないか十分に確認して設置してください。



ドアが「ボタン」と確実に閉まる音がしない場合は、本体固定ビスを外して製品を手前に引き出し再度設置状況をご確認ください。